



2022年11月7日

各 位

会 社 名 日 東 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 黒 野 透
 (コード 6651 東証プライム・名証プレミア)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 仲 祐 治
 (T E L . 0 5 6 1 - 6 2 - 3 1 1 1)

2023年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期の業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期業績予想および1株当たり配当予想を修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2023年3月期第2四半期累計連結業績予想と実績との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり連結 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 67,000	百万円 3,500	百万円 3,500	百万円 1,800	円 銭 47.46
今回実績(B)	65,601	2,171	2,955	1,698	44.78
増減額(B-A)	△1,398	△1,328	△544	△101	-
増減率(%)	△2.1%	△38.0%	△15.6%	△5.6%	-
(参考)前期実績 (2022年3月期 第2四半期)	61,014	3,902	4,059	2,622	64.81

(2) 2023年3月期通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 145,000	百万円 9,600	百万円 10,000	百万円 6,700	円 銭 176.65
今回修正予想(B)	145,000	7,600	8,400	5,300	139.73
増減額(B-A)	-	△2,000	△1,600	△1,400	-
増減率(%)	-	△20.8%	△16.0%	△20.9%	-
(参考)前期実績 (2022年3月期)	132,735	8,637	9,412	6,607	164.75

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 2023年3月期第2四半期累計個別業績予想と実績との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 35,500	百万円 2,000	百万円 7,700	百万円 7,000	円 銭 184.56
今回実績(B)	33,756	1,435	7,521	7,460	196.68
増減額(B-A)	△1,743	△564	△178	460	-
増減率(%)	△4.9%	△28.2%	△2.3%	6.6%	-
(参考)前期実績 (2022年3月期 第2四半期)	32,582	2,131	3,501	2,561	63.29

(2) 2023年3月期通期個別業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 77,000	百万円 6,600	百万円 12,400	百万円 10,900	円 銭 287.39
今回修正予想(B)	76,000	5,300	11,200	10,000	263.63
増減額(B-A)	△1,000	△1,300	△1,200	△900	-
増減率(%)	△1.3%	△19.7%	△9.7%	△8.3%	-
(参考)前期実績 (2022年3月期)	70,327	5,330	7,148	5,389	134.37

3. 業績予想修正の理由

(連結・個別の第2四半期業績予想と実績値の差異について)

部材調達難や原材料価格の高騰、輸送コストの増加等の影響により、売上高・利益共に前回公表値(2022年5月13日公表)を下回りました。

(連結・個別の通期業績予想の修正)

売上高については回復傾向にあるものの、原材料価格の高騰等による収益面への影響が引き続き大きく、前回公表値(2022年5月13日公表)を下回る見込みとなったため、上記の通り修正いたします。

4. 配当予想の修正

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月13日)	円 88	円 89	円 177
今回修正予想	-	52	140
当期実績	88	-	-
前期実績 (2022年3月期)	25	25	50

5. 配当予想修正の理由

当社は、2023 中期経営計画の残り 2 期（2023 年 3 月期および 2024 年 3 月期）では、さらなる自己資本の積み増しを抑制し R O E の向上をはかるため、連結配当性向 100% を目標に配当を実施することとしています。

上記配当方針に基づき、このたびの業績予想の修正を踏まえ総合的に勘案した結果、配当予想を上記のとおり修正するものです。

(注) 本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上